

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木克宗

事業名：一般国道4号西原交差点改良	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 関東地方整備局
起終点：自：栃木県宇都宮市西原町 至：栃木県宇都宮市西原町	延長：0.7km	
事業概要：一般国道4号（現道）は、埼玉県春日部市、幸手市、栃木県小山市、宇都宮市等の中心市街地を連絡し、都市内・都市間交通を支える幹線道路としての役割を担っている。 西原交差点改良は、当該交差点付近の渋滞を解消するため、川田交差点の立体化、西原交差点の改良・国道4号の4車線化(0.7km)整備を行う事業である。		
S57年度事業化	S46年度都市計画決定	H3年度用地着手
H8年度工事着手		
全体事業費：約100億円	事業進捗率：62%	供用済延長：0.0km
計画交通量：39,600台/日		
費用対効果分析結果	B/C：(事業全体) 2.1 (残事業) 7.2	総費用：(残事業)/(事業全体) 30/102億円 （事業費：26/99億円 維持管理費：3/3億円）
	総便益：(残事業)/(事業全体) 212/212億円 （走行時間短縮便益：208/208億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：1/1億円）	基準年：平成16年
事業の効果等 ・円滑な交通の確保（現道等に当該道路の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する） ・都市の再生（下栗平松本町土地区画整理事業と連携あり） 他12項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 国土交通省、宇都宮市、JR等の関係機関において工程調整会議を定期的実施（1回/月）		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 沿線の土地区画整理事業が進行中であり、当該交差点周辺における交通渋滞は依然として著しいものがある。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成9年度までに川田入口交差点の右折レーンの延伸を完了。平成14年度に川田入口交差点の立体化の工事を着手。現在、川田入口交差点の立体化の事業促進中、また、西原交差点の用地買収中。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 JR東北本線の立体化に伴う線路切替用地の買収や産業通り立体化用地の一部に公団混乱地区があり、用地取得に難航し時間を要しているため、供用目標を遅延することとなった。現在、川田入口交差点の立体化を進め、平成14年度から国道横断部のアンダー化工事及び改良工事を実施している。今後は、産業通りの供用に合わせて平成19年度の供用を目指している。		
施設の構造や工法の変更等 コスト縮減に資する調達方法の採用や新技術の積極的活用など、コスト縮減に努めるとともに工期短縮を図り、併せて整備効果の早期実現を図る。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。